

〈第9回 若林地域会議 会議録〉

日 時 令和7年12月19日(金) 19:00~20:45
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 14名
事務局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、倉地主査
オブザーバー 村中館長

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

(1) 第8回若林地域会議会議録について

高岡支所より報告

- ・防災フェスタの委託業者や自主防災サポーターの日程について報告をした。今回も2点について進捗報告を後ほどする。2月の提言に向けて前回に引き続き今回も建設的な議論をしていきたい。

(2) 自主防災サポーター養成講座の自治区回覧チラシについて

高岡支所より報告

- ・前年度に引き続き、高岡4地域での地域課題解決事業となる。日時は令和8年2月28日(土)の9時から15時15分である。場所は高岡コミセンのふれあいホール。募集人数は先着30名で、参加料は無料となる。また、昼食としてアルファ米を用意しており、別途400円でおかずの注文ができる。講座内容は家具固定演習と避難所運営ゲームとなる。申込方法は二次元コードかURLからとなるが、難しければ電話でも受付をする。駐車場は大岡技研の第3駐車場となっている。

(3) 若林防災フェスタの広報チラシについて

高岡支所より報告

- ・令和8年1月25日(日)の10時から16時で開催する。謎解きはレベル1からレベル4まで用意しており、こどもから大人まで楽しめるイベントとなっている。出展ブースに関しては、まだ調整中のところもあるが、自衛隊、警察、豊田市消防、豊田市水道局などが来る。また、ステージイベントとして若林東小学校のマーチングバンド部、豊田南高校の吹奏楽部、応援バトン部に出てもらおう。

〈委員〉素晴らしいチラシだと思うが、このチラシはイベント会社が作ったものか。

〈事務局〉イベント会社が作ったもの。

〈委員〉主催はどこになるのか。

〈事務局〉もちろんメインで動くのが高岡支所なので、主催は豊田市となる。

〈委員〉給水車が来ると書いてあるが、実際に高岡中学校にある給水設備は使えないのか。

〈事務局〉高岡中学校にある給水設備は使わない。代替手段として給水車に来てもらう。

〈委員〉イベント当日、高岡中学校の西側の門は使用できないのか。

〈事務局〉西側の門は開けられないと言われている。

〈委員〉駐車場からは案内はどのようにするのか。

〈事務局〉各所に案内看板を設置する形で対応する。

(4) 若林地域版防災カレンダーについて

高岡支所より報告

- ・前年度と同様のものになるが、カレンダーを作成した。利用者の声を聞くと、こどもの予定表として使っているということも聞いている。是非地域で活用してほしい。

〈委員〉前年度のものとはすべて一緒か。

〈事務局〉1月の情報のページにあった部分で、今後の地震の発生確率を示すものがあったが、今回の改訂に伴い削除した。

3 協議事項

(1) 提言に向けた資料の確認について

高岡支所より説明

- ・当初の予定ではまちづくりビジョンを提言書として提出する予定であったが、記載内容の中で、都市計画課や防災対策課などの関係部署に確認してもらう必要がある部分が多いため、これまで協議をしてきた「防犯マップ」と「あいさつ標語コンクール」を提言としてまとめ提出したい。そこで提言書を資料4のとおりまとめた。資料で修正が必要な部分について意見交換をしたい。

〈委員〉それぞれの課題にたどり着いた背景を情報として記載してほしい。また、それぞれの実施内容を通して、どんなことを成果として出したいかを加えてほしい。

〈委員〉名鉄高架に関するホームページを見たら様々な写真や絵がある。若林地域にとっての一大プロジェクトなので、高架を1枚増やしても良いのではないか。また、住宅もできてきているので、若林地域が発展してきていることがわかる写真も欲しい。

〈委員〉人はまだ増えてはいない。開発をしている最中でこれから居住者の募集が始まるため、人が増えるのはもう少し先になる。

〈委員〉現在進行中の高架の写真を撮ってもよいと思う。

〈委員〉名鉄に駅のモデルを作成するように依頼しているが、まだどうなるかわからないからなのか作ってもらえない。それができればそれを載せたい。

〈委員〉提言書を提出する2月までにどの程度高架が完成しているのか。

〈委員〉東側はある程度できている予定。西側はもう少しかかると思う。

〈事務局〉提言書の頭紙は会長、副会長と相談し、写真を変更することにする。

〈委員〉土地区画整理事業は現在中断している。よって推進という言葉は適切ではない。

〈委員〉事業として消滅しているのか。

〈委員〉事業として消滅しているわけではない。現在は中断しており、令和8年の3月末に検討結果を報告となっているため、推進という言葉は適切ではない。

〈事務局〉土地区画整理事業の「推進」という文言が引っかかるのであれば、9総に記載されている文言に合わせた形にするのはどうか。例えば「駅近居住誘導エリアへの居住誘導」とすれば間違っていない表現になるかと思う。

〈委員〉事業として消滅しているわけではないからそのまま掲載すべきだと思う。

〈委員〉二十歳の集いの中では「検討されています」になっている。

→多数決により、そのまま掲載することに決定。

〈委員〉提言書の中では「犯罪に対して不安を感じている人が多い」と記載があるが、企画書を見ると学生のみが対象になっている。

〈委員〉あくまでも企画書なので、実施にあたっては来年度に検討すればよい。詳細にしすぎると、来年度以降やりづらくなってしまうため、このような表現にしている。ただ、基本線は逸らさないでほしいという思いでこのようにした。

〈委員〉あいさつ標語コンクールについて、提言書も企画書も同様だが、あいさつできる住民を増やすという目標に対して、標語の活用方法の項目には広報するや掲示するという記載になっているため、実際にどう動くのかが不足している。例えば地域の団体や自治区の大人が、子どもに対して標語を使って挨拶をするという行動面の記載があると、目標に合うと思う。

〈委員〉大人が子どもに挨拶をする場がない。大人から挨拶されても今の子どもは逃げてしまう。小学校の下校に際し、挨拶運動に参加したが、挨拶を返してくれない。なので、このような場がある、作るという提案をしてほしい。

〈委員〉先ほどの話にもあったように企画書の段階なので、そこまで具体的に記載する必要はないかと思う。

オブザーバーより挨拶

〈村中館長〉

今回は2月の提言に向けて具体的な取組である2つの事業を協議していた。来年度以降にこの事業が動き出すと、皆さんの話し合いも実を結んだと言えると思う。また、名鉄高架の工事車両の影響で、交流館の第2駐車場までほぼ満車が続けている。交流館を利用する際にはご承知おきをお願いしたい。

〈委員〉3月の地域会議はなしという認識でよいか。

〈事務局〉3月は来年度の事業について、地域会議委員との合意形成を図る場と考えているので開催したい。

→異議なし 3月27日の地域会議を最終日とする。

★次回開催

第10回定例会：令和8年1月23日（金）午後7時から 場所：若林交流館多目的ホール